

学校の歴史/教育目標/教育方針

岐阜県立池田高等学校（以下「池田高校」と表記）は、高校進学率の上昇と第二次ベビーブームによる生徒急増期に合わせ、1984年に自然豊かな岐阜県揖斐郡池田町に新設された県立の普通科高校です。2013年に創立30周年を迎え、これまでに8千名を超える卒業生を輩出し、卒業生は、地元岐阜県はもとより、国内で広く活躍しています。

現在、約460名の生徒が日々授業と部活動に励んでおり、学校生活の各方面で成果を上げています。生徒急増期には1学年11学級、最大で全校生徒約1,300名の時代もありましたが、地域の生徒数の減少や都市部の高校へ進学を希望する中学生も多く、現在は1学年4学級の小規模校となっています。しかし、池田町にある唯一の高校であり、在籍生徒の出身は、池田町のある揖斐郡（池田町、大野町、揖斐川町）の中学校が66%、隣接する安八郡神戸町が11%、大垣市が20%という、まさに地域の学校と言えます。

進路においては、約9割の生徒が四年制大学、短期大学、専門学校に進学し、1割の生徒が就職するなど、ほぼ全員が進路目標を達成しています。

池田高校の「教育目標」は、「校訓『向学・友愛・錬磨』の下、明るく規律ある学校生活を通して、『知・徳・体』の調和のとれた人間性豊かな、心身ともに健全な人間形成を期すとともに、持続可能な社会の発展に貢献できる人間の育成に努める」です。

この目標を達成するため、「教育方針」として下記の方針を挙げています。

- (1) 自ら課題を設定し、自ら学び考えることで、主体的に判断・行動し、よりよく問題解決を図ることができる能力の育成に努める。
- (2) 自ら掲げた進路目標を達成するために、自主的・主体的な学習態度の確立を図り、学力の育成に努める。
- (3) 他人と協調し、他人を思いやり、他人の支えに感謝する心豊かな人間性の育成に努める。
- (4) 自立心をそなえ、たくましい体力と気力の育成に努める。
- (5) 環境の美化に努め、汗の尊さを理解し、奉仕の心、自然を大切にする心の育成に努める。



岐阜県立池田高等学校



池田高等学校敷地北側からの航空写真